

学位論文審査基準

【数学】

理学研究科 数学専攻

理学研究科 応用数学専攻

理学研究科 科学教育専攻(理学(数学))

創域理工学研究科 数理科学専攻

項目	課程/論文	基準
主論文を構成する論文の条件	課程博士	査読のある学術専門誌に掲載されたか、または掲載が決定した論文が原則として 2 編以上あること。ただし、一定以上の基準を満たす論文ならば 1 編でも可とする。
	論文博士	査読のある学術専門誌に掲載されたか、または掲載が決定した論文が 4 編以上あること、あるいは一定以上の基準を満たす単著論文を含めて 3 編以上あること。
博士学位にふさわしい学力確認の基準(学位論文の内容に係る審査条件)	課程博士	学位申請論文の内容ならびにそれに関連する分野についての口頭試問を行い、高度で深い専門的学識と自立的研究能力を有しているかどうかを審査する。
	論文博士	
国際化に対応する研究者としての能力確認の基準	課程博士	主論文を構成する論文は英文であること。 学位論文は英文で記述すること。
	論文博士	
在学期間短縮に係る基準	課程博士	優れた業績を上げたと認められ、かつ、主論文を構成する論文について論文博士の基準を満たしていること。ただし、極めて顕著な業績を上げたと認められる場合には課程博士の基準を適用する場合がある。